

令和6年度 地域の元気応援事業 ふいかえい報告書



松阪市 企画振興部 地域づくり連携課

令和7年6月

はじめに

1. 地域の元気応援事業について

地域の元気応援事業は、住民自治協議会やNPO等の市民活動団体による地域の特性を生かした魅力ある活動を応援し、その活動を更に発展させ、地域における元気を市内全域に波及させることを目的とした事業です。下記2部門で募集・審査を行い、優れた事業提案に対して活動資金を交付します。

2. 部門紹介（令和6年度地域の元気応援事業 募集要項の内容）

（A）地域力アップ部門

対象団体	住民自治協議会
部門の概要	単独の住民自治協議会が行う事業、または複数の住民自治協議会が共同で行う事業を対象に、地域計画等に基づき、地域の個性を生かし、地域が一体となって課題の解決に取り組んでもらうことを目的とした部門。
支援額	上限 20 万円（活動交付金に加算）※地域づくりスポンサー賞で加算あり

※地域づくりスポンサー賞とは？

企業が地域社会の発展に寄与していただくことを趣旨として、住民自治協議会が行う活動を応援する賞です。（A）部門の事業提案の内、付加価値のある優れた事業提案に対して賞が授与されます。賞を受けると、20 万円を上限に支援額が加算され、更なる事業の発展に活用することができます。

（B）市民活動サポート部門

対象団体	松阪市内の地域づくりに寄与するNPO等の市民活動団体（※）
部門の概要	NPO等の市民活動団体がもつ多様なアイデアやスキルを生かした事業を実施することで、地域の活性化に役立ててもらうことを目的とした部門。
支援額	上限 10 万円

※応募対象となる団体は、公共の利益や社会貢献を目的として主体的・自主的な取り組みを行う、5人以上で活動する団体です。法人格の有無は問いません。ただし、未成年者だけで構成する団体は対象外です。

令和 6 年 度 採 択 事 業 紹 介

(地域力アップ部門)

※発表順

ページ	事業の名称／協議会名	事業の概要	スポンサー賞
3	続・隣人の思いやる心と目線で地域住民の安心を創る！	続・隣人の思いやる心と目線で地域住民の安心を創る！継続で持続可能な力を生みだす	
	松ヶ崎住民自治協議会		
4	あざかGo！Go！フェスタ 2	サブテーマ：たのしくなければあざかフェスタじゃない 世代間を超えた連携を促進します	株式会社 三十三銀行
	あざか住民自治協議会		
5	まつお桜祭り	阪内川河畔に植樹された満開の染井吉野桜を見ながら、子どもも大人も楽しい一日を！	マックスバリュ東海 株式会社
	松尾住民自治協議会		
6	高齢者生活支援事業「柿野支援隊」	安心して暮らせる町「柿野」・お年寄りの方を元気な世代が助ける組織「柿野支援隊」	松阪新電力 株式会社
	柿野住民自治協議会		

(市民活動サポート部門)

ページ	事業の名称／団体名	事業の概要	松阪市および スポンサー
7	～子どもたちとともに学ぶ松阪の偉人たち～	「子どもたちとともに学ぶ松阪の偉人たち」で自分の住む町の魅力に触れよう！	松阪市
	松阪偉人顕彰団体協議会		
8	香肌小学校親子山村留学生募集活動による地域活性化	香肌小学校親子山村留学により、学校、移住者、地域が三方よしで活性化を実現します！	松阪市
	香肌小学校親子山村留学実行委員会		
9	カヌーゲレンデ香肌峡のお宝発掘とカヌーの振興普及	カヌースポーツの振興・普及を通じて素晴らしい景観を持つ櫛田川の魅力を発信します。	マックスバリュ東海 株式会社
	MCA松阪市カヌー協会		

<地域力アップ部門>

協議会名 松ヶ崎住民自治協議会

事業名 続・隣人の思いやる心と目線で地域住民の安心を創る！



実施目的

1. ととなり人（びと）事業とは＝孤独・孤立を解消するため、近所同士がお互いを見守り、声を掛け合う“温かい関係づくり”をめざす。
2. 「〇〇宅カーテンが閉まったままやし、姿を見かけんけど何かあったんやろか」「心配やなー」と異常に気付かれても、「どこに・誰に通報していいのかわからない」このような声を受け「となり人事業」の計画をおこなった。

事業報告

- 【事業内容】
1. ととなり人（びと）啓発ミニテキストの作成と全戸配布
 2. 松ヶ崎地区8自治会を対象に。出前講座の開催（出席：78名）
 3. 住民学習会「かもめ教室」においても学習課題として開催（出席：32名）
- 【成果】
1. 啓発ミニテキストは、分かりやすい編集（松崎弁）に努めた。
 2. 結果、異常を感じた人が、市民センター、自治会長、民生委員に通報されるなど、対応も「様子見から直ちに動かれる人」が何人かみえたと報告を受けている。
 3. また、となり人事業の命名については「となり人事業って何？」と興味を持ってもらい、そこからミニテキストに目を通してもらう事を期待してこのネーミングに決定した。
 4. 福祉関係者から「となり人事業」について聞きたい、松阪市外の活動団体からも「この事業に興味がある。啓発ミニテキストを送ってほしい」など依頼があった。

活動について

【実施して良かった点、苦労した点】

（良かった点）

多くの人から「分かりやすいミニテキスト」また「私も隣近所の人に異常を感じたら、直ぐに動こうと思う」との声をいただいた。特に他市の方からも興味を持っていた点に記述させていただく。

（苦労した点）

啓発資料としての価値観を高め、多くの人に目を通してもらいたい。そんな思いでミニテキストの編集に取り掛かった。タイトルの決定や内容の記述を、“松崎弁”とする事で誰もが抵抗なく目を通してもらえるよう知恵を絞った。

【これからの活動】

この「となり人事業」は、これからの地域づくりの根幹として位置付け、高齢者対策、要配慮者対策、子ども対策、防災・災害対策に活用する事で、松ヶ崎の安全・安心事業のさらなる推進を図りたい。

総事業費	236,000 円	連絡先	0598-51-5036（松ヶ崎地区市民センター）
------	-----------	-----	---------------------------

<地域力アップ部門>

協議会名	あざか住民自治協議会
事業名	あざか Go ! Go ! フェスタ 2



実施目的			
世代間を超えたふれあいと地域の絆を深め、阿坂地域の活性化、地域力を高めることを目的に誰もが参加しやすいイベントとして『あざか Go ! Go ! フェスタ 2』を企画しました。第1ステージでは、地元中学生が語り部となって「地元の史跡を巡り、地元の良さを再認識する」をテーマに、第2ステージでも中学生の演奏会、ふれあいマルシェなど「地域住民とのふれあいを深め、地域活性化に繋げる」をコンセプトにしました。			
事業報告			
【事業内容】 1. 第1ステージ 実施日 10月19日(土) 参加者 90名 「語り部が案内するたのしいハイキング」 ・地元中学生が語り部となって地元の史跡を巡り、地元の良さを再認識 2. 第2ステージ 実施日 11月10日(日) 参加者 301名 「あざかフェスティバル」 会場：阿坂小学校グラウンド ・「中学生による演奏会」「ふれあいマルシェ」「ふれあいゲーム」「地場産品販売」「抽選会」など 【成果】 ・昨年の実績から第1ステージ、第2ステージ共に参加者も増え、一層の一体感が生まれたと思う。			
活動について			
【実施して良かった点、苦労した点】 阿坂地域としての一体感をより高める為にも地域全体でのイベント開催は必要であり、継続して開催できたことが、良かった点だと思う。 地域の皆さんにいかに参加して頂けるイベントにできるか、広報活動も含めて、苦労した点です。 【これからの活動】 今後も継続して地域の一体感を高める為にも地域全体で多くの方が参加できるイベントにしていきたい。			
総事業費	538,700 円	連絡先	0598-58-2645（阿坂地区市民センター）

<地域力アップ部門>

協議会名	松尾住民自治協議会
事業名	まつお桜祭り



実施目的			
桜の開花シーズンに併せて、地域の子どもから大人が、地域のつながりや健康を増進し、地域が元気になることと、地域の春の活性化につなげることを目的とします。			
事業報告			
【事業内容】 3月の最終日曜日の、桜の開花シーズンに開催。 1、松尾小学校大運動場と堤防周囲のウォーキングと抽選会 2、多目的広場での催し（ミニSL・消防車・パトカー・農機具・建設機械等乗車体験、 団体・企業ブース子どもゲームコーナー、キッチンカー等） 3、小学校体育館前での催し（中部・西中学校の吹奏楽部の演奏、クラブ発表、企業ブース、ふるまい） 【成果】 地域の団体・企業様にご協力いただき、地区内外の子どもから大人の方まで、桜の木の下での楽しい1日を過ごしていただけた。			
活動について			
【実施して良かった点、苦労した点】 松尾地区に桜の名所があることを、知っていただけた。市外の方も参加していただけた。 あまりにもたくさんの催しを計画したため、スタッフの方々にたくさんご協力をいただきました。 【これからの活動】 好評でしたので、毎年桜が咲く時期に継続していきたい。			
総事業費	567, 318 円	連絡先	0598-58-2648（松尾地区コミュニティセンター）

協議会名	柿野住民自治協議会
事業名	高齢者生活支援事業「柿野支援隊」



実施目的			
柿野地域は、住民約 1300 人のうち、80 歳以上のお年寄りが 20%を占める過疎高齢化地域で 5 年後には 30%を超えると予測されています。アンケートを取ったところ、高齢からくる不安から生活支援を訴える要望が寄せられたことから、将来にわたって高齢者が安心安全に暮らせる地域を目指し、住民による共助組織として、「柿野支援隊」を立ち上げました。			
事業報告			
【事業内容】 支援隊は 80 歳以上の高齢者世帯と身体障害者を対象に、日々の生活で困っている事について協力隊員（支援者）が有料で対処するもので、粗大ごみの処理、処分、ごみの分別、搬出、樹木の剪定や除草、電球交換、家の軽微な補修、畑の耕運などを請け負います。 【成果】 令和 6 年度末で協力隊員（支援者）は 44 人、利用会員（高齢者）は 15 人が登録しました。延べ 23 人の高齢者が支援を依頼し、延べ 66 人の協力隊員が草刈り、生垣の剪定、粗大ごみの処分、家周辺の清掃、屋根補修など延べ 149 時間の支援作業を行いました。			
活動について			
【実施して良かった点、苦労した点】 利用者からは「業者に頼めるような仕事でもないし、困っていたので非常にありがたい。また、地元の人で顔も知っているので信用できる。安心してここで暮らせます」といった声が寄せられました。 【これからの活動】 私たちの地域で、お年寄りの世帯の方が安心して暮らせるよう、この活動がいつまでも長く続きますように住民の皆様にご理解と協力を求めています。また、活動の趣旨や制度が地域全般に十分浸透するようチラシを作成して回覧するなど PR 活動に力を入れます。			
総事業費	410,184 円	連絡先	090-5769-6948（事務局 中出）

<市民活動サポート部門>

団体名	松阪偉人顕彰団体協議会
事業名	～子どもたちとともに学ぶ松阪の偉人たち～



実施目的 「松阪の偉人たち展」をきっかけに、子どもたちに我がまちの先人、偉人について興味をもってもらい、家庭において話すきっかけをつくることで、地域愛を育み、後世への伝承へとつなげたい。また、自分たちの暮らすまちの先人・偉人、さらには自分たちが暮らすまちへ関心を高めてもらいたいと 10 年継続して偉人展を実施してきた集大成として、別途、「子どもたちとともに学ぶ松阪の偉人たち」を開催いたしました。			
事業報告 【事業内容】 12 月 7 日（土）13 時 30 分から産業振興センター3 階ホールにおいて、子どもたちとともに松阪の偉人たちを学ぶ機会として、「わたしたちのまちの偉人シンポジウム」を開催し、市内施設の学芸員 4 名と市内中学生 4 名が松阪の偉人たちについて討論会を行い、あわせて小野江小学校 6 年生に松浦武四郎の劇を披露いただきました。（討論会参加者 70 名、劇観覧者 100 名）8 月 7 日～11 日文化財センターにおいて展示した資料の一部を、8 月 26 日から豪商のまち松阪観光交流センター2 階に展示し、「松阪の偉人たちミニ展示」も行いました。 【成果】 「第 10 回松阪の偉人たち展」から抜粋した資料のミニ展示会やシンポジウムにおける学芸員や子どもたちの討論会、また小学生による演劇で楽しく松阪の偉人を学んでもらう場を提供できました。討論では、「まつりに参加することで偉人を学べるとよい」「様々な取り組みがふるさと愛（松阪愛）を育てる」といった意見もあり、演劇では、武四郎の「強く・優しく・広い心で」という思いを参加者に伝えてもらうことができました。			
活動について 【実施して良かった点、苦労した点】 小学生、中学生に参加をいただいたことで、家族の参加にもつながり、自分たちの住むまちの先人や偉人を知るきっかけをつくることができました。これをきっかけに地域愛を育み、後世へとバトンが繋がっていくとよいと感じています。一方、シンポジウムの広報については大変苦慮しました。 【これからの活動】 平成 26 年に県の「美し国おこし三重事業」の協力で県内の偉人顕彰団体が集まり、企画展「わがまちの偉人・武将」を行ったことをきっかけに参加した市内 5 つの団体で松阪偉人顕彰団体協議会をたちあげ、平成 27 年から文化財センターギャラリーにおいて「松阪の偉人たち展」を開催してきました。10 回目の展示を終え、今後は顕彰した記録を後世につなげられるよう、取り組んでいきます。			
総事業費	150,474 円	連絡先	090-8184-2627（会長 高島）

<市民活動サポート部門>

団体名	香肌小学校親子山村留学実行委員会
事業名	香肌小学校親子山村留学生募集活動による地域活性化



夏のオープンスクール スイカ割り



交流会では昔の遊びを教えてもらいました

実施目的			
香肌小学校の特色ある教育活動を発信し、親子山村留学生を募集することで、香肌小学校および地域の活性化につなげる。			
事業報告			
【事業内容】 ① オンライン説明会の開催 5月11日、6月23日、11月2日の計3回 参加者9組。 ② オープンスクールの開催 5月25日、7月25日、8月22日、11月23日の計4回 参加者6組16名。 ③ 地域交流会の開催 2月11日に開催。移住者家族16名、実行委員会8名が参加。 【成果】 次年度からの親子山村留学生は0組だったが、地域交流会を通じて、令和6年度に移住された家族と地域の方々の絆を深めることができた。			
活動について			
【実施して良かった点、苦労した点】 地域交流会や各戸配布文書を通じて、地域内での親子山村留学募集活動の認知度を高め、今後の空き家や雇用の発掘、及び地域での移住者受入への地盤固めができたと思う。一方、説明会やオープンスクールへの参加者は前年度比で減少し、広報発信活動に関わるマンパワーの不足が課題となった。 【これからの活動】 発信活動の幅を広げるため、保護者の中から主体的な参加者を募り、それらの方々が活動しやすい環境を整えていこうと考えている。			
総事業費	112,005 円	連絡先	kahada.es.cs@gmail.com(代表 E-mail)

<市民活動サポート部門>

団体名	MCA松阪市カヌー協会
事業名	カヌーゲレンデ香肌峡のお宝発掘とカヌーの振興普及



実施目的			
① 素晴らしい景観を持つ櫛田川の魅力の発信 ② 子供たちの水遊びの復権 ③ カヌースポーツの振興・普及 ④ 飯高の魅力の発信と地域の振興			
事業報告			
【事業内容】 ① 河川敷や渓谷を散策出来る遊歩道整備 ② 河川敷や渓谷のスズメバチの撲滅 ③ 小学校カヌー教室&水辺安全教室を通して「ライフジャケットの正しい着用」を啓蒙 ④ 市民プールでの通年カヌー教室 ⑤ 「魚が泳ぐ清流櫛田川クリーン作戦」としてゴミ回収活動の実施 ⑥ 桜を植樹して景観を整備			
【成果】 ① 飯高道の駅のロックガーデンに多くの人々が訪れるようになってきました。 ② 香肌峡を散策する人やカヌーを楽しむ人たちにスズメバチに刺された被害報告はありませんでした。 ③ ライフジャケットの関心が高まり正しく着用する人達が多くなってきました。 ④ 市民プールで冬季初めてカヌー教室を実施出来ました。 ⑤ きれいな櫛田川でカヌーをする人達が増えてきました。 ⑥ 櫛田川の大きなゴミが目に見えて減ってきました。 ⑦ 小学校・中学校の卒業記念植樹が出来ました。			
活動について			
【実施して良かった点、苦労した点】 ① 素晴らしい景観美を誇る香肌峡を散策する人たちが通年にわたり増えてきました。 ② 香肌峡をカヌーでダウンリバーする他県・府の人たちが増えてきました。 ③ 冬季のカヌー練習で全国ジュニアスラローム大会参加選手を育成出来ました。 ④ 熱中症警報や大水でカヌー教室やダウンリバー大会が中止になることが多々ありました。			
【これからの活動】 ① スズメバチ対策は、継続して根気強く実施していきます。 ② 真夏の時期をなるべく避けて活動をしていきます。			
総事業費	127,674 円	連絡先	090-9944-6651（代表：桐井）

令和6年度 松阪市地域の元気応援事業協賛企業（順不同・敬称略）

➤ マックスバリュ東海 株式会社



松尾住民自治協議会（p. 5）



MCA 松阪市力ヌー協会（p. 9）

➤ 松阪新電力 株式会社



柿野住民自治協議会（p. 6）

➤ 株式会社 三十三銀行



あざか住民自治協議会（p. 4）



企業の皆さま、ご協賛・ご審査
ありがとうございました！



巻末写真集

<地域力アップ部門>

協議会名	松尾住民自治協議会
------	-----------



体育館前での西中学校吹奏楽部の演奏



ちゃちゃも・福っきーとのふれあい

協議会名	柿野住民自治協議会
------	-----------



年末の清掃を依頼され、
作業に励む柿野支援隊の協力隊員



高所や石垣の草取りを依頼され、草刈り機など
機材を持ち込んで作業する柿野支援隊の協力隊員

<市民活動サポート部門>

団体名	MCA 松阪市カヌー協会
-----	--------------



夜間でも市民プールでカヌー教室を
することができました。



香肌峡には大変なごみがありました。

地域の元気応援事業 年度別採択一覧

《地域力アップ部門》

住民自治協議会名	28年度		29年度		30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	地域力	広域	地域力	広域							
松阪中央住民協議会	○	△			▲						
幸まちづくり協議会	○	△			▲						
第二地区まちづくり協議会											
第四地区住民協議会		◆	○	◆				◎			
神戸まちづくり協議会			○		○		○				
徳和住民自治協議会					○		○		○		
東住民自治協議会									○		
あさみ住民自治協議会	○	◇	○	◇	○						
掬水住民自治協議会		◇	○	◇					○		
漕代まちづくり協議会		◇		◇	○	○					
伊勢寺地区住民自治協議会					○						
あざか住民自治協議会	○		○		○	○	○	○	○	○	○
宇気郷住民協議会								○	○		
西黒部まちづくり協議会		◇◆		◇◆			○				
東黒部住民自治協議会		◇◆		◇◆							
機殿住民自治協議会	○	◇	○	◇	○	○	○				
大石地区住民自治協議会	○		○			○	○				
茅広江住民自治協議会									○		
射和地区住民自治協議会			○			○					
鈴の森住民自治協議会					○						
港住民自治協議会		◆		◆				◎			
松ヶ崎住民自治協議会	○	◆	○	◆	○	○	○	○	○	○	○
花岡住民自治協議会											
松尾住民自治協議会	○		○		○	○	○	○		○	○
大河内地区住民自治協議会	○				○						
嬉野宇気郷住民協議会											
中郷まちづくり協議会											
豊地まちづくり協議会	○		○		○	○	○	○			
嬉野中川まちづくり協議会											
豊田住民自治協議会			○			○	○				
中原まちづくり協議会	○		○		○		○				
米ノ庄住民自治協議会											
天白まちづくり協議会		◆		◆							
鵠住民自治協議会		◆		◆							
おのえ住民自治協議会											
有間野区住民自治協議会			○								
粥見住民自治協議会			○								
仁柿住民自治協議会											
柿野住民自治協議会	○										○
宮前まちづくり協議会	○		○		○	○	○	■	○	○	
川俣住民自治協議会	○							■			
森住民自治協議会								■			
波瀬むらづくり協議会	○		○		○	○	○	■			
採択事業数	15	3	17	2	16	11	13	7	8	4	4

※協議会の名称は令和7年6月1日時点のものを使用しております。

《市民活動サポート部門》

市民活動団体名	28年度	29年度	30年度	令和 元年度	令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和 6年度
					活性	連携	活性	連携	活性	連携	活性	連携	
まつさか子育てママチーム			○	○									
瑞巖寺庭園保存会	○												
松阪ハーモニックジュニアバンド	○	○		○									
神ノ木台健康イキイキ仲良しクラブ	○												
このゆびとまれ		○											
阪内町まちづくり委員会		○											
音楽のアトリエMUSICANO（ムジカーノ）			○			○					○		
特定非営利活動法人 i sierra				○						○			
Tulay（トゥライ）					○								
松阪ギター音楽協会					○		○				○		
市場庄おやじ会					○								
まつさかプレーパークをつくる会					○								
生ごみリサイクル亀さんの家					○								
MCA松阪市カヌー協会						○		○	○		○		○
伊勢寺郷土史研究会								○					
子育て応援まるまるサークル									○				
おんいく松阪 実行委員会									○				
映像CUBE									○				
香肌小学校親子山村留学実行委員会											○		○
松阪偉人顕彰団体協議会													○
採択事業数	3	3	2	3	5	2	1	2	4	1	4	0	3

広域 …… 広域連携部門。複数の住民協議会が共同で取り組み地域間の広域連携を推進し連携の輪を広げる事業（30年度から地域力アップ部門と統合）

地域力 … 地域力アップ部門。地域の課題解決に向け地域の個性を生かし地域全体が一体となって取り組む事業（30年度から広域連携部門と統合し、複数の住民自治協議会で取り組む事業も対象）

活性 …… 地域活性コース（市民活動サポート部門）。NP0等の市民活動団体が行う地域活性化のための事業のコース（令和6年度から地域連携コースと統合し、市民活動サポート部門として一本化）

連携 …… 地域連携コース（市民活動サポート部門）。NP0等の市民活動団体が、住民自治協議会と連携したり住民自治協議会を支援したりして行う地域活性化のための事業のコース。（令和6年度から地域活性コースと統合し、市民活動サポート部門として一本化）

○以外の記号 … 複数の住民自治協議会が連携して取り組んだ事業

◇東部管内防災ネットワーク ◆松阪市臨海地域防災ネットワーク △松阪三珍花花碑建立

▲歩いて楽しい道づくり ◎地域防災力向上への取り組み ■冊子「カハダヲタベル」発行事業

<お問い合わせ先>

松阪市 企画振興部 地域づくり連携課

〒515-8515 三重県松阪市殿町 1340 番地 1

TEL 0598-53-4324 FAX 0598-26-4035

E-mail commu.div@city.matsusaka.mie.jp